

関係各位

「既設コンクリート橋梁の維持管理に関する体験講習会」のご案内

2024, 2025 年度に引き続き, 第3期 SIP「スマートインフラマネジメントシステムの構築」のサブ課題 C「地方自治体等のヒューマンリソースの戦略的活用」(代表: 宮里心一(金沢工業大学))の取組の一環として, 「既設コンクリート橋梁の維持管理に関する体験講習会」を開催いたします。

本講習会では, 宝達志水町に供用され撤去された実 PC 桁 (スパン 5 m) の破壊実験を公開致します。開催概要は下記のとおりです。対面開催となります。

■日時: 2026/8/20 (木) 13:00-17:00

■タイムスケジュール(当日の状況により軽微な変更あり)

13:00~13:30 開会あいさつ, 趣旨説明

13:30~14:00 実 PC 桁の供用・撤去の経緯などの紹介

14:00~15:00 PC 桁の特性や簡易耐力評価法の説明

15:00~16:00 実 PC 桁の載荷実験

16:00~17:00 総括と今後の活用についての意見交換会

■場所: 金沢大学 3階構造工学研究室, ハードラボ3(別紙参照)

■参加費: 無料 (対面 30 名)



■主催: 第3期 SIP「スマートインフラマネジメントシステムの構築」
サブ課題 C「地方自治体等のヒューマンリソースの戦略的活用」

■申込方法: 下記の Google Form にご入力ください。
<https://forms.gle/VXRWLTpoFZe4tVfj6>



■申込期限: 8/17 (月)

■このプログラムは, 土木学会継続教育 (CPD) プログラムに認定されています。

■お問合せ先: 栗橋祐介 (金沢大学) Email: kuri@se.kanazawa-u.ac.jp



■実 PC 桁の供用・撤去の経緯などの紹介

この PC 桁は、柳瀬区道橋として、宝達志水町管内に供用されていましたが、2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震により甚大な被害を受け、通行止めとなりました。被災後、当初は修繕・復旧を検討しましたが、被災による利用者の減少や、すぐ下流に位置する橋梁へのルート集約が可能であることから、町と地元柳瀬区と協議の結果、撤去に至りました。



供用時（被災後）の状況



床版撤去作業の状況



床版撤去後の状況



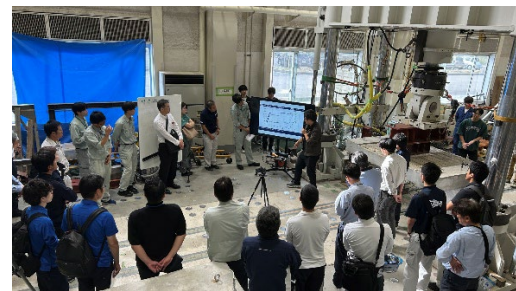
金沢大学での保管状況

■PC 桁の破壊実験

PC 桁の破壊実験は、2024 年度の RC ボックスカルバート、2025 年度の RC 床版の場合と同様に金沢大学・ハードラボ3で実施します。



2024 年度 (RC ボックスカルバート)



2025 年度 (RC 床版)